

キリストが すべて です。

夏「2022年 6月, 7月 と 8月」

「彼らの口には、神への称賛、彼らの手には、もろ刃の剣があるように。」詩編 149:6 「神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心の色々な考えやはかりごとを判別することができます。」ヘブル書 4:12

6月16日、木曜日の午後2時前、私は安中小学校の近くにいて、生徒が学校帰りで、私の前を歩いて来ると、私は祈りの風船、一パックを希望の子に渡しました。喜んでもらう子が3割以上でした。

5年生の二人の女の子が一緒に歩いて来ると、風船をもらうと、ちょう喜んでいた。

“配りたい！”と 私に願いました。それで、私はちょう喜びました。その二人の女の子が精いっぱい配り始めると、もっとたくさんの子が喜んで祈りの風船のパックをもらいました。

私は福音子供讃美歌の歌を歌うと、その二人が初めてその歌を聞いたのに、勤勉に聞いていた、すぐに、一緒に歌いました。私が永遠の救いの福音のことを話すと、その二人の永遠の魂の者がよく聞きました。

「私は あなたがたの 幸せの為に 祈ります」と 私が その二人に言うと、二人とも 同じの言葉を 私に返しました。「あなたの幸せの為に祈ります。」まことに、神様が使わして使い人たちでした。彼女たちは一度もこの讃美歌の歌を聞いたことがなかったが、今勤勉に聞いて、自分も一緒に歌うのを頑張りました。あと小学生4人が寄って来て、よく聞きました。

七月一日木曜日の午後に私が群馬県富岡市の一之宮小学校から90メートルぐらい離れていた所に立って、お祈りが書いてある風船を学校帰りの子供たちに配りました、ほとんどの子供が喜んでもらいました。その様子を見た人が学校を連絡して、私の正しい活動を伝えると、校長先生が来て、わがすぐ真ん前に立って、公の歩道にいるわが酷い邪魔をわざとなって、「もらってはダメ!!」と子供たちに命令した。彼よりもかわいそうの人がこの世にいません。

夏の3か月中、私が軽井沢町の貸店舗によくいました。大勢の永遠

の魂に永遠の命を伝えました。彼らの救いの為に祈って下さい。
キリストのしもべ、 サム・ヤービー。